

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p>◆ 警察における対応</p>           | <p>◇ 学校におけるいじめ問題については、一義的には教育現場により解決されるものであるが、警察としても、いじめ事案への対応を的確に行うため、学校や教育委員会等の関係機関と連携を図りつつ、いじめに関する相談対応などあらゆる警察活動を通じて早期把握に努めている。</p> <p>特に、被害少年の生命・身体の安全が脅かされているような重大事案がある場合は、迅速に捜査、調査に着手し、重大ないじめに当たらない事案であっても、被害少年等が犯罪行為として扱うことを求める場合は、原則として被害届を即時受理するなど、被害少年の立場に立った対応を徹底している。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>◇ いじめの定義</p><p>児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（いじめ防止対策推進法第2条第1項）</p></div> |
| <p>◆ いじめ防止対策推進法に係る警察の対応</p> | <p>◇ 本法の趣旨、目的等に沿い、学校や教育委員会と連携し、スクールサポーター等を連絡協議会に参加させるなど日頃から情報共有できる体制の構築に努めている。</p> <p>（参考）</p> <p>平成26年4月1日、京都府いじめ防止基本指針が策定され、学校との連携におけるスクールサポーターの役割が明記された。</p>  |
| <p>◆ 少年相談活動状況</p>           | <p>◇ 令和4年中<br/>少年相談総件数<br/>797件（前年比 -527件）<br/>うちいじめ事案の相談 19件（前年比 -4件）<br/>（全体の2.4%）</p> <p>※ いじめ事案の相談のうち、相談者が少年のもの<br/>2件（前年比 ±0件）<br/>（中学生1件、高校生1件）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>◇ 令和3年中<br/>少年相談総件数<br/>1,324件（前年比 +240件）</p></div>  |

うちいじめ事案の相談 23件（前年比 -1件）  
（全体の1.7%）

※ いじめ事案の相談のうち、相談者が少年のもの  
2件（前年比 -2件）  
（高校生1件、中学生1件）

【令和5年中の状況】別添資料参照

◆ いじめに起因する  
少年の自殺

◇ 令和4年中 0件（前年比 ±0件）

◇ 令和3年中 0件（前年比 ±0件）

【令和5年中の状況】別添資料参照

◆ いじめに起因する  
事件検挙

◇ 令和4年中  
検挙・補導件数 4件（前年比 +1件）  
検挙・補導人員 5人（前年比 -3人）  
被害者数 4名（前年比 +1名）

※ 検挙罪名  
傷害 2件 2人  
窃盗 1件 1人  
暴行 1件 2人

◇ 令和3年中  
・ 検挙・補導件数 3件（前年比 +2件）  
・ 検挙・補導人員 8人（前年比 +7人）  
・ 被害者数 3名（前年比 +2名）

【令和5年中の状況】別添資料参照

◆ いじめ防止の取組

◇ 非行防止教室において、  
「いじめ防止」をテーマに盛り込んで実施  
しており、いじめの特徴や仕組み、いじめにかかる事例な  
どについて、  
フラッシュカード（紙芝居）やパワーポイントを  
使用  
し、視覚に訴えると共に児童・生徒に自ら考えさせる教室  
を実施している。  
今後も対象学年に応じたより分かりやすい内容を工夫し  
て実施していく予定である。

別添資料

◆ いじめに関する相談受理（令和5年8月末）

▷ 相談受理状況

少年相談総件数 724件（前年同期比 +187件）

うちいじめ事案の相談 28件（前年同期比 +16件）

（少年相談全体の3.9%）

※ いじめ事案の相談のうち、相談者が少年のもの  
3件（前年同期比 +2件）

◆ いじめに起因する少年の自殺（令和5年8月末）

0件（前年同期比 ±0件）

◆ いじめに起因する事件の検挙・補導（令和5年8月末）

検挙・補導件数 3件（前年同期比 +2件）

検挙・補導人員 4人（前年同期比 +3人）

被害者数 2人（前年同期比 +1人）

※ 検挙罪名

暴行 2件 2人

迷防条例 1件 2人